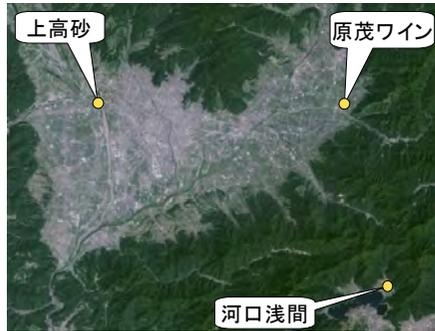


講評にかえて

# 活動事例に学ぶ景観づくりのヒント

山梨大学 生命環境学部 地域社会システム学科 大山勲



## 1. 原茂ワイン株式会社・勝沼ぶどう園通りの活動

特徴1 景観づくりのセンスが良い 3つ

①農村のデザインに学ぶ景観づくり  
(伝統的かたちの保存・修復・洗練)



### ■この地域の農家の典型

母屋と附属屋で囲まれ  
低い棚で覆われた庭



居心地の良い空間



### 山梨: 伝統的民家に対する経済的支援はほとんど無い

富士川町十谷地区 空き家率50%以上



全国では・・・

重要伝統的建造物群保存地区では

例) 奈良県今井町 1993～2013  
修復総事業53億円(うち補助が12.5億円)



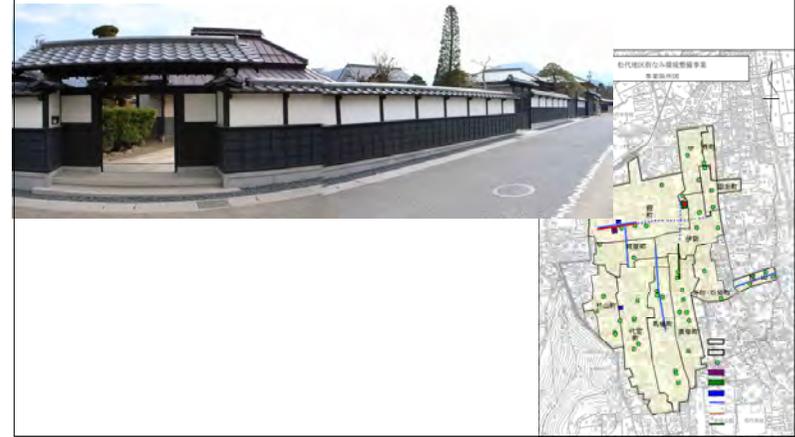
重要伝統的建造物群保存地区でなくても

例)奈良町 1988～2013 7億円/246戸へ支援



重要伝統的建造物群保存地区でなくても

例)長野県松代町 2002～2014 まちなみ環境整備事業72haで  
46戸 上限300万円(2/3)の修景補助



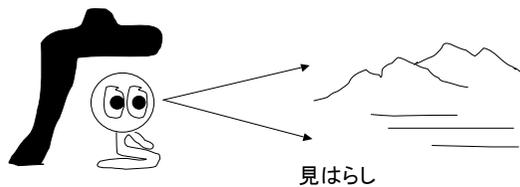
## 1. 原茂ワイン株式会社・勝沼ぶどう園通りの活動

景観づくりのセンス

② 「大観」を望む「身体座」のお手本

大観:一目見て山梨であることが分かる  
山梨の地形がわかる  
広域を一望のもとに捉える景観

身体座:居心地の良い「寄り辺」



1. 原茂ワイン株式会社・勝沼ぶどう園通りの活動



身体座



温泉+眺望

身体座は山梨にほとんどない



■ 「身体座」は古来からの景観文化



京都 円通寺の借景庭

眺める+食べる=やすらぎ倍増



南禅寺本坊

名所江戸百景

歌川広重

八景坂鐘掛松



(現 大田区)

江戸名所図会 行人坂上の富士見茶屋



(現 目黒区)

眺望+隠れ家

自分の身は隠れて守られ、  
見通しが効く場所

=人類のやすらぎの場



1. 原茂ワイン株式会社・勝沼ぶどう園通りの活動

景観づくりのセンス

③観光(経済)+生活文化発信 と景観

団体客は断る、web発信も控える  
原茂園での空間・時間を提供  
景観(気色)→ブランドへ



1. 原茂ワイン株式会社・勝沼ぶどう園通りの活動

特徴2 民間個人の活動(2000年~)



グループの地域活動へ(2006年~)



## 1. 原茂ワイン株式会社・勝沼ぶどう園通りの活動



樽サイン

花ポット配布

幟旗の縮小

葡萄棚支柱の色塗り



## 1. 原茂ワイン株式会社・勝沼ぶどう園通りの活動

### 特徴3 活動の持続・発展を支えた要素

#### ① 市職員の支援

ぶどう園通りの活動立ち上げ時:補助  
交流の窓口

#### 専門家(石川工務所)の存在

伝統的景観の保存・修復・洗練

#### ② 活動の進め方 = 無理をしない

押しつけない

## 2. 上高砂自治会・上高砂まちづくりプロジェクトの活動

国のモデル事業(男女共同参画)を発端(2007~2009)

⇒ グループ活動の自立(2009年)

⇒ 自治会の活動へ(2012年)



## 2. 上高砂自治会・上高砂まちづくりプロジェクトの活動

なぜ、事業終了後も活動が継続できたか？

■事業の初期:「まち歩き」で地区の良さに「自信」を持つ

■事業の中で:「活動を企画」→「実践」  
自分たちでもできる「自信」を持つ

「フリマ」「青空会議」「まちプロ通信」など

事業後も活動を継続

初動期から 支援と協働

■大学教員 ■市職員

## 2. 上高砂自治会・上高砂まちづくりプロジェクトの活動

### 活動の特徴

課題を見つけ→アイデアをすぐ実行  
「子ども」の参加を重視



県道開通→植栽が枯れる  
→子供に参加してほしい(小学校へかいミントの苗育成→植栽)  
→歴史を学ぶツアー(プロジェクト会員がガイド:歴史をさらに勉強)

## 2. 上高砂自治会・上高砂まちづくりプロジェクトの活動

### なぜ、自治会の活動へ展開したか？

松並木の歴史的価値に気づく

⇒ 松並木は区の財産

⇒ 区の議決→市へ「景観重要樹木」指定を提案

まちづくりプロジェクトの活動を自治会行事へ位置づける  
(下部組織に)

(神社の祭、高砂酒、文化祭、フリマ)

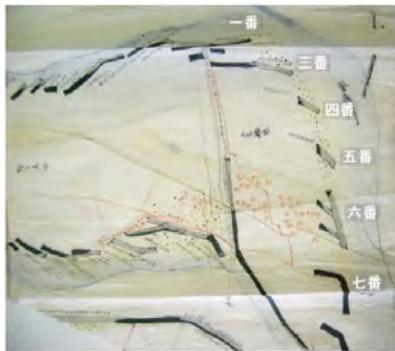
自治会主催の行事へ・・・

(松並木四季写真の募集、景観川柳の募集・・・)

自治会のまちづくり=総合的まちづくりへ 期待

## 2. 上高砂自治会・上高砂まちづくりプロジェクトの活動

ここでも 市職員の支援と協働 歴史に詳しい学芸員のカ



明治29年(1896)御影村水害図  
松林が植えられている一番、三番、六番が流失



明治21年測量 同43年(1910)第一回修正 大正5年製版  
現在の松林か?現在の松林の範囲とほぼ同一

## 2. 上高砂自治会・上高砂まちづくりプロジェクトの活動

### 持続の秘訣 ~ オープンな会 ポジティブな会

- まちづくりプロジェクト:参加退会は自由(規約なし)
- オープンにすることに気配り(子どもにも意見を聞く)  
→子ども~お年寄りの参加を得る
- 「無い物ねだり」ではなく「あるもの探し」

### 地域のDNA

水害との闘い(九頭竜祭など)  
→共助の精神が強い地域だったのでは?

### 3. 河口浅間まちづくりの会の活動

県の道路改良事業を発端 (2009~2011)



グループ活動の自立

### 3. 河口浅間まちづくりの会の活動

なぜ、事業終了後も活動が持続したか？

■ 公共事業に住民意見が反映→

自分たちがまちを作れる！ 体験

せっかく集まったメンバー(コア5人) 続けよう！

地域を良くする事をしたい → ?何をする？

■ 川越・小布施の視察→自分たちには無理

■ 新潟県村上市への視察 外観再生事業→

自分たちでも出来そうだ！

村上市より資源がたくさんある自分たちの地域で

出来ないはずはない

転機

事業後も活動を継続

課題をみつけ→アイデアをすぐ実行

### 3. 河口浅間まちづくりの会の活動

なぜ、活動が活性化・拡大したか？

様々な活動:何でもすぐやるフットワークの軽さ

自分たちが活動を楽しんでいる(大人の遊び?)

活動したら飲み会

得意な人がやる(水平関係の役割分担)

■ 子どもが祭りに来ない→祭で子ども向けの出店→親も来る

→歴史を学ぶオリエンテーリング

■ 清掃活動、枝打ち、菊の花ポット、クラフトイベントでもてなし、尺八コンサート、マップづくり、稚児の舞キーホルダー、空き家対策、昔の写真アーカイブス、空撮、WEBページ作成、消防団詰め所跡をまちづくり拠点に

■ 寺川河川改修・遊歩道の提案

要望するだけでなく自ら河川清掃、自費で先進地視察

活動の実績が周囲の人を動かす サポートメンバー  
茶屋

### 3. 河口浅間まちづくりの会の活動

初動期から現在も・・・ 町職員の支援と協働

専門家(コンサルタント)の支援

ワークショップ、活動記録の蓄積、  
様々なアイデア実現の支援

地域のDNA



■ 心の拠り所の浅間神社→地元愛が強い

歴史・文化を守り育てるセンスが共有

文化・子どもの地域愛・誇りを  
守り育てることが景観づくり

■ 御師のもてなしの文化→開放的な地域  
(年配の人が若い人の意見を聞いてくれる)

## 4. まとめ

景観まちづくりの活動が なぜ生まれたのか？  
なぜ自立できたのか？  
なぜ持続し活性化したのか？

### 共に汗を流す自治体職員

住民はみな地元への愛着を持っている。背中を押すのは自治体職員

- ①事業を契機とする 良さの再認識・成功体験で自信を持ってもらう
- ②事業の範囲にとらわれない支援（人をつなげる：例：学芸員）
- ③事業終了＝まちづくり活動終了としない継続的支援（自分も楽しむ）

+ 専門家の支援

## 4. まとめ

### 数人の仲間で、まず実行し楽しむ

カリスマリーダーのまちづくり  
→仲間で役割分担のまちづくり

- 数人集まればまちづくりがはじまる  
仲間と話す→共感→自信とアイデアが生まれる  
→無理せず楽しい活動・小さい活動。次々と活動。活動の後のビール
- 続けているといろいろな展開が起こる  
(新たなアイデア、新たな参加者、新たな公共事業、新たなネットワーク)

### 歴史文化を尊重するセンス

- 歴史に学ぶ：地域の歴史文化が地域らしい景観をつくる！というセンス  
→例) 古民家保存など伝統的景観の継承  
子どもたちが楽しく参加し地域愛を育むことが景観づくり  
→自ずと「化粧の景観づくり」ではなく  
「景観を現している文化をつくること」へ  
さらに「総合的なまちづくり」へ発展